米商進路だより

令和５年 10 月３日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第 19 号）

《　予測困難の時代　》

先週行われた鶴城祭は、米商の創造活動の向上と学年およびクラスの相互理解を深めることを目的に開催されました。端的に言うと、「楽しむ」ためにお互いを認知した上で、一人ひとりの個性を尊重しなければ成功しないことを学ぶ学校行事です。４年ぶりの一般公開で、保護者だけでなく地域の皆様や他校生の人たちが、７００名余も来ていただき達成感や充実感に溢れた時間となりました。

さて、以前も話をしたかもしれませんが「予測困難な時代」を最近の言葉で「VUCA（ブーカ）の時代」などと呼ばれていることを知っていますか。VUCA とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取った造語です。現代を生き抜くために、そのときにおける社会一般の流行を捉えることは簡単なことではありません。

例えば、現在の進学は総合型選抜や学校推薦型選抜が主流になりつつあります。学力は、「思考力・判断力・表現力」の要素が求められ、勉強だけでなくインターンシップ・ボランティア・探究活動を含めて様々な活動を経験して身につく能力が必要になってきました。これらは、いずれも一朝一夕には体得できることではありませんので、在学中に様々なことにチャレンジすることが求められています。

また、高校生はスマートフォンで音楽を聴いている人が多くなっていますが、かつてはウォークマンを持ち歩き、音楽をカセットテープに録音をしてイヤホンを繋いで聴くスタイルが主流でした。CD から録音するのに手間暇がかかりましたが音楽を聴くためには、CD をレンタルしたり購入したりするところがスタートであり、流行の曲がテレビで発表されると販売店やレンタル店に殺到する光景があったのです。

さらに、日本人には馴染みのある貯金（預金）ですが、超低金利が続いているので貯金（預金）だけでは資産を増やすことはできません。そこで、NISA（ニーサ）という投資型（元本保証なし⇒収益に税金なし）の金融商品が主流になりつつあります。つまり、その時代における流行を捉えておくことが求められているのです。物価高が続く現代は、まさに予測困難な時代と言っても過言ではないのです。

期日	曜日	内容
１０月　４日	水	３年生　第１回進学模擬面接
１０月　５日	木	１年生　WAKU WAKU WORK　（米沢工業高校）
１０月１０日	火	中間考査（３日間）
１０月３０日	月	３年生　第２回進学模擬面接（１日目）
１０月３１日	火	３年生　第２回進学模擬面接（２日目）

※ 進学希望者は志望校の倍率が Web 上で発表されていますので確認して下さい。

《　WAKU WAKU WORK でのご縁　》

10 月５日（木）に米沢工業高校で実施される WAKU WAKU WORK の参加企業が決定しました。「これまで知らなかった業種の仕事を体験することで将来の進路選択の一助」にすることが目的で本校は４回目の開催になります。今年の３年生の中に、１年生の頃 WAKU WAKU WORK に参加をして、仕事の内容に興味関心を持ち就職内定を頂いた人がいます。企業とのご縁を大切にしてください。

No.	事業所名	No.	事業所名
1	株式会社藤倉設備	19	ゼオンケミカルズ米沢株式会社
2	株式会社本多建設	20	株式会社ニューテックシンセイ
3	株式会社後藤組	21	株式会社パルコモード
4	株式会社若松屋	22	株式会社ナカノアパレル山形工場
5	株式会社エービーエム	23	株式会社マイ・コンピュータ・ソフト
6	ナノトップ株式会社	24	東北電力ﾈｯﾄﾜｰｸ株式会社米沢電力ｾﾝﾀｰ
7	山形朝日株式会社	25	美容組合米沢支部（カットサロン SWING）
8	ＡＧＣディスプレイグラス米沢株式会社	26	株式会社志乃屋
9	サクサテクノ株式会社	27	特別養護老人ホーム　おいたまの郷
10	インテグリス・ジャパン株式会社	28	社会福祉法人　成島園
11	株式会社三陽機械製作所	29	株式会社山形銀行
12	株式会社彌満和製作所米沢工場	30	有限会社佐藤林産
13	米沢ダイヤエレクトロニクス株式会社	31	株式会社米沢牛黄木
14	マクセルフロンティア株式会社米沢事業所	32	米沢電話設備株式会社
15	株式会社十字電子	33	株式会社エフ・シー・エス
16	米沢精密株式会社	34	置賜広域行政事務組合米沢消防署
17	アルス株式会社	35	自衛隊山形地方協力本部米沢地域事務所
18	株式会社井上香料製造所	36	米沢警察署

《　私の高校時代　No1　》

本校の先生方から高校時代を振り返っていただき進路達成のためのヒントをいただく企画を２年ぶりに実施いたします。「あの日あの時あの場所で」どんなことがきっかけで今の人生を歩んでいるのか参考にしてください。テレビ、スマホ、新聞雑誌等のメディアの影響はもちろんですが、日々の学校生活における先生方のアドバイスや友達からの一言が“きっかけ”となって大きく変わる瞬間があるのかもしれません。

私は、高校時代部活動に力を入れており、進路は就職を目指していました。人それぞれ「普通」は違いますが、私は「地元に残り両親や友人と過ごすこと」が普通と考えていました。進学するということは、さらに勉強するということです。それがどうしても面倒くさいなと感じていました。

しかし、家族や当時の担任と話を重ね、進学でしか経験できないものがあると知りました。実際、高卒で就職しないとできない経験もあると思いますが、進学の方が面白い経験ができるという単純な理由で進学しました。

《　私の高校時代　No2　》

高校時代には、全く先のことは考えていなかったような気がします。時代はバブルだったので、漠然と、なんとかなるでしょうと思ってたんでしょうね。とりあえず受験勉強を頑張って大学に行こうとしていました。（本当に、気が狂いそうになるほど勉強しました。）ただ単に、大学生になって遊びたかったんでしょうね。その結果、大学に行っても授業には全く興味が持てず、学校に行かなくなりました。そして２回も留年しました。ちなみに大学卒業後は、卒業前から勤務していた運送会社にそのまま勤めて、大型車やトレーラーで長距離運転手をしていました。その後、仕事を転々とし、50 歳を過ぎても自分が何をすべきなのか模索しています。私のようにはならないでね。（Ｉ先生）

高校時代は毎日ヘトヘトになるまで部活をこなし、気付けば３年の夏。周りは将来の進路実現に向けさまざまな活動を始めていました。親からのプレッシャー、先生方の困った顔、だけどなかなかしたいことが決まらない自分に嫌気が差しつつ、結局夏休みが終わっても進路は決定していませんでした。その時に、自分の高校３年間を振り返ってみると頑張ったことは部活。そこから部活で進学先を決め、たまたま学部に経営があったため商業の学び直しだろうと思って経営を選び、４年間学んでいくうちに今まで高校で学んだこととは別の商業についての価値観が生まれ、今の職業に繋がっています。今になって思うのは、何か打ち込めることを見つけ自分の力にすることの大切さ、さまざまな体験活動に積極的に取り組むことで視野を広げることができるのは高校の時だけだと思います。新しいこと、知らない世界のことについて興味を持つことを大事にし、高校生活の経験すべてを自分の財産にしてください。（Ｋ先生）